

## 令和2年度第1回 伊勢市行政改革推進委員会（書面決議）委員意見

### 1 全般的な意見

- 全般的に、令和元年度の取り組みは2年目ということもあり、行革の理念に則して、しっかりと実施くださっているという印象を受けた。
- 令和2年度、令和3年度の取組については、今後の本委員会での審議事項になってくると思うが、緊急事態宣言の延長等を踏まえた上で、大幅な見直しが必要に思う。
- 実施状況が記号化（◎、○、△、×）されており、前回よりわかりやすくなっていた。同様に各年度の取組状況も記載されており、わかりやすかった。
- 令和元年度の実績については、非常に良好である。進捗管理も適切に行われており、完了に向けて更なる工程管理の厳格化を期待する。
- 効果額が明確に算出しづらい項目もあると思うが、財政改革プランなので、相応額でもいいので記入する方が良い。
- それぞれの取組については、連携して進めることも必要であり。行政だけが推し進めるのではなく、地域も含め進めていくべきではないか。

### 2 各取組に対する意見

#### I-③-3 認知症サポーターの養成による地域活動の推進（高齢者支援課）

##### 【意見】

- ① 成果指標での参加人数が「0」とは？
- ② 地域活動の推進であれば、地域活動促進に向けた具体的なことを述べてはどうか？むしろ地域で支え合わなければならないことを強く打ち出してはどうか？

##### 【回答】

- ① 取組開始前（平成29年度末）であるため、実績なし（0人）ということである。
- ② ご指摘を受け、以下のとおりR1の取組状況についての記述を変更します。  
「認知症サポーターの地域支援活動の促進を目的にステップアップ研修を実施した。研修後は、認知症サポーターが「チームオレンジ」を立ち上げ、認知症本人を支援するネットワークをつくっている。地域での支え合いが重要であり、家族会、認知症カフェと共に活動している。今後も取り組みを継続していく。」

#### I-③-5 途切れないこども発達支援体制の充実（こども発達支援室）

##### 【意見】

この事業は、大変重要な事業であることから、専門性も要求されるとともに、地域住民の理解も大事であり、特に、普段関わっている家族のニーズを把握するなどの総合的な支援も大切であるのでは。

##### 【回答】

こども発達支援室では、専門職による個別の発達相談にて、家族、保護者の悩みや

不安に耳を傾け、子どもへの対応方法の検討・助言を行っておりますが、それらの相談を通じて、家族のニーズも聞かせていただく機会があります。

それらのニーズや家族支援の視点から、子どもたちが生まれ育った地域で健やかに成長できるよう、子どもの発達に関する正しい知識や理解を深められるよう『発達支援講演会』、『広報等による啓発』の実施や、発達に問題を抱える子どもを持つ家族・保護者向けに開発されたプログラム『ペアレントトレーニング』を取り入れた事業も進めています。

今後も、発達に課題を抱える子どもへの発達支援体制の充実とともに、周りで支える家族・地域住民の理解や協力を深められるよう事業の充実を図ります。

## I-⑥-2 関係団体等との連携による空家の管理に関する相談業務の充実（住宅政策課）

### 【意見】

背景には、人口減少や少子高齢化があり、もっと思い切った手を打たないと、防災や防犯、生活環境、まちづくりに悪い影響が出てくるだけでなく、地域社会の維持が難しくなる。そのため、伊勢市においても、空家を解体した跡地には、緑地などに転用する。活かせる空き家は若い世代や転勤者の住宅・高齢者の居場所、若手芸術家の居住・制作・発表の場などとして活用を図る。今のハード中心の施策をさらに拡充してはどうか。

要は、負の遺産ではなく地域の資源と考え、空家再生を支える仕組みまで考えてはどうか。

### 【回答】

委員ご指摘のとおり、人口減少や少子高齢化を背景に空家は増加しており、適切な管理が行われていない空家等については、防災・衛生・景観等、地域の皆様の生活環境に影響を及ぼし、社会問題となっています。また、空家は遊休資産でもあり、その有効的な利用のための対応も必要なところであります。

このことから、本市におきましても、平成28年度に伊勢市空家等対策計画を策定し、「安全・安心の確保」「活用・流通の促進」「地域との連携」を3つの柱として、総合的に対策を推進しているところでございます。

特に、利用可能な空家につきましては、市といたしましても地域の資源と捉え、リフォームの普及等、中古住宅としての市場流通促進や、地域の活動拠点等としての活用促進を図るべく、空家バンク制度を創設し、移住者向けのリフォームや家賃補助を実施しているほか、地域のコミュニティ団体や福祉団体さん等から地域の活動拠点等として空家の活用の希望があった際には、空家所有者と利用希望者の仲介を行っていくこととさせていただいておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

## I-⑦-1 施設使用料の見直し（資産経営課・スポーツ課）

### 【意見】

受益者負担の公平性や公正性の確保の観点から、「施設使用料に関する見直し指針」を更にバージョンアップして、施設有効活用、経費削減を図るようには？

（例）二見体育館の利用形態の中で、毎週日曜日の午後の無料一般開放について、旧御薊、小俣とのバランスは？なぜ、体育館だけなのか？また、スポーツ少年団の体育館使用について、昼の明るい天気の良い日でも水銀灯をつけているのはどうか？他市町の状況も参考にして考えては、せめて、電気代の負担はあっても良いのか？

### 【回答】

（資産経営課）

「公共施設等総合管理計画」におきまして、施設の有効活用、経費削減についての方針を記載しており、今後もこの計画に沿って取り組みを進めてまいります。

（スポーツ課）

二見体育館の無料一般開放については、他の行事等に支障がない範囲で、屋内スポーツを自由に行える時間を設けておりますので、今後の扱いについては検討をいたします。

スポーツ少年団の体育館使用時の電気代負担については、競技の性質上、昼間でも水銀灯を使用している場合がありますが、青少年育成の観点から免除としています。

## I-⑦-2 ふるさと未来づくり資金の見直し（市民交流課）

### 【意見】

取組項目に「各まちづくり協議会において、地域の特性に応じた活動ができるよう、ふるさと未来づくり資金について検討を行い、各地域に適した支援を図る。」とあるが、すべてのまち協とは言わないが、現実には、旧来からの各自治会への税金（助成金等）の再配分というのが実態ではないか。

60件の改革プランの取組項目を連携付け、進めていくことが必要であり、行政だけが推し進めるのではなく、地域にも投げる。まち協の存在意義として、「多様な主体の連携による避難行動要支援者支援」、「関係団体との連携による空家の管理に関する相談業務の充実」、「ごみの減量化推進」、「ごみの資源化の推進」、「放課後子ども教室の充実」、関連して、「学生ボランティア活動の窓口業務の一元化の検討における活用」を進めていけないかを感じる。また、地域活動の中での「電子申告、電子納税の推進」、「多様な納税環境の整備」等の周知を行うことを推進していけないかと思う。

さらに、PPP/PFIの活用研究、公共施設マネジメントの推進、学校体育施設開放における施設管理の見直し、施設使用料の見直しなどの施設管理に関する取組みと関連付けて進めていけないかと思う。

### 【回答】

ふるさと未来づくり資金は、事務運営費、活動事業費及び広報紙配布等協力金で構成されています。

そのうち、広報紙配布等協力金において、広報の配布、廃棄物の減量等の啓発を自治会が中心となって取り組んでいただいているのが現状ですが、各まちづくり協議会の考えの下、柔軟に活用いただくことができます。

平成27年のふるさと未来づくり条例施行以来、「地区まちづくり計画の策定」、「広報活動」、「地域課題の集約」など進めることができましたので、今後は、御意見をいただいたとおり、「公共の領域」を住民との協働により拡充してまいりたいと考えています。

各地域の公共施設の管理についても、その中で検討していきたいと考えています。

## II-⑧-2 ITセキュリティ対策の強化（情報政策課）

### 【意見】

運用上の課題とは何か、解決に向けてのロードマップを示すなど、他の項目に比して、もう少し丁寧な説明が必要ではないか。

### 【回答】

行政情報系ネットワークとインターネット系ネットワークの間でファイルを受け渡す無害化転送システムにおいて、ファイルの転送に対応している形式が限られていることから、ファイルの移し替えにUSB機器の利用が必要になっています。USB機器の利用制限を実施した場合、容易にファイルの移し替えができなくなることから、事務の煩雑化とセキュリティ強化のバランスが課題となりました。

この課題を解決するため、各所属の所有するUSB機器を資産管理システムに登録し、登録外のUSB機器について利用を制限する運用を9月までに開始する予定です。

## II-⑧-6 簡易水道事業の上水道事業への統合（上水道課）

### 【意見】

効果額が明確に算出しづらい項目もあると思うが、財政改革プランなので、相応額でもいいので記入する方が良い。→（例）事務量削減による人件費削減額

### 【回答】

事務量削減による人件費削減額を以下のとおり算出し効果額へ記載します。

150時間×3,900円=585,000円

## II-⑧-8 交付金事業の統合による事務の効率化（下水道建設課）

### 【意見】

効果額が明確に算出しづらい項目もあると思うが、財政改革プランなので、相応額でもいいので記入する方が良い。→（例）事務量削減による人件費削減額

### 【回答】

事務量削減による人件費削減額を以下のとおり算出し効果額へ記載します。

300時間×3,900円=1,170,000円

## Ⅱ-⑧-9 学生ボランティア活動の窓口業務一元化の検討（社会教育課）

### 【意見】

効果額が明確に算出しづらい項目もあると思うが、財政改革プランなので、相応額でもいいので記入する方が良い。→（例）事務量削減による人件費削減額

### 【回答】

事務量削減による人件費削減額を以下のとおり算出し効果額へ記載します。

1,032 円/時間×15.5 時間/年≒15,900 円

## Ⅲ-⑨-2 公共施設マネジメントの推進（資産経営課）

### 【意見】

公共施設マネジメントの推進に関しては、使用、利用既得権者だけで議論するのではなく、地域にも説明しながら進めていくことが大切ではないか。

### 【回答】

本事業を推進する際には、市民の皆様の理解を得る必要があることから、地域の皆様に説明を行いご理解いただけるよう努めてまいります。

## Ⅲ-⑨-4 じん芥収集車更新計画の見直し（清掃課）

### 【意見】

効果額が明確に算出しづらい項目もあると思うが、財政改革プランなので、相応額でもいいので記入する方が良い。→（例）減車に対する維持費の削減額

### 【回答】

減車に対する維持費の削減額（1,925,000 円）を効果額へ記載します。